

陽だまり

16

Vol.

2014.6



公益財団法人
丹後中央病院

広報誌

〒627-8555
京都府京丹後市峰山町杉谷158-1

TEL 0772(62)0791
<http://www.tangohp.com>

富岡製糸工場と『女工哀史』を考える

病院長

西島直城

陽だまりvol. 16

CONTENTS

富岡製糸工場と『女工哀史』を考える 病院長 西島直城	2
旧A棟解体工事のお知らせ	4
病棟・病床のご案内	5
新任医師のご紹介① 内科 保田真吾 医師	6
新任医師のご紹介② 整形外科 安藤義博 医師	7
各部署のご紹介① 栄養科	8
各部署のご紹介② 医療安全管理室	9
「気づきの箱」から 無料送迎バスを 運行しています	10
糖尿病セミナーのご案内	11
平成27年度 職員採用のおしらせ	12

本号には、無料送迎バスの時刻表を添付しております。ご利用ください。

◆ 今号の表紙 ◆



栄養科 管理栄養士
関 美咲

栄養科では、患者様への栄養指導を実施しています。患者様にとってわかりやすい説明をさせていただきよう努めています。8ページに栄養科をご紹介しますのでご覧ください。

時は1918年に遡る。シベリア出兵と富山県滑川の米騒動がきっかけとなり、寺内内閣が崩壊した。次に組閣されたのは、政友会の原敬（はらたかし）内閣であった。このことは、民主主義の第一歩として重要な意味を持つ。本格的な政党政治の始まりであった。今までの藩閥政治から政友会の代表による組閣となり、その後も高橋、加藤、山本、清浦と、政友会を中心とした組閣がなされる。この頃を大正デモクラシーと呼ぶ。

少し遡って1905年、日露戦争に勝利し、講和条約はポーツマスで結ばれた。交渉は、日本の小村寿太郎、ロシアのウイッテの会談であったが、やはり小村は子供、大人との勝負であった。東京駅に降り立った小村寿太郎は、暗殺されるかのごとき国民感情の反発に遭った。旧体制は残り、藩閥政治は依然として続いていた。

1910年、伊藤博文が暗殺されるや、日本は韓国を併合した。ロシアが欲しくてたまらなかった地域である。この頃から、日本は列強の仲間入りをして、軍備の増強に努め、植民地政策を推し進めた。その結果、国民の生活はますます苦しくなった。当然、隣国は日本を警戒し始め、ことにアメリカのオレンジプランはその一例であり、アメリカのフィリピン統治が強まり、日本を封じ込めるABCDラインが囁かれたのもこの頃である。第一次世界大戦が終焉となるや、ドイツの太平洋方面の権益は日本に移譲され、サイパン島をはじめ南洋諸島が日本の領土となり、日本人が多く住み着いた。日本では大正デモクラシー、民本主義（吉野作蔵）、そしてドイツでは1919年、最も民主的と言われたワイマール憲法が制定された。

しかし、1923年の関東大震災は、政策を一変させなければならぬほどの出来事であった。国民の生活は貧しく、娘の身を売る東北での悲しい話が生まれた。職が無く、若者は軍部に志願した。そこで、1925年、治安維持法が制定され、かたやデモクラシーの延長で普通選挙法が制定された。男子には全て選挙権が与えられた。

1926年には大正天皇が崩御され、時代は昭和元年となる。1928年にはケロッグ・ブリアンの不戦条約、ワシントン軍縮会議と、1920年代は二度と戦争は起こすまいとの気運が高まっていた。問題は、国際連盟に、提唱者であるアメリカが加盟していなかったということ、軍事的・経済的制裁がはっきり規定されず、換言すれば、連盟が無効であったということにあった。

そのような時代を背景に、日本の絹織物の盛況ぶりは世界に類を見なかった。家内制手工業から工場制手工業に変わり、さらに工場制機械工業に変わっていった。絹織物と言えば、日本の桐生と丹後が生産一、二を競った。「ガチャマン」と言われる時代がこの頃である。

しかし、その裏では、貧しい女性たちが青森・下北半島や熊本・五島列島から、この地に集められた。18時間労働だったと聞く。細井和喜蔵はこのことを、『女工哀史』の中で雄弁に語った。和喜蔵は与謝郡加悦町(現:与謝野町加悦)出身である。小さい時に両親を失い、近くの機屋の小僧として育った。その中で弱者の苦しみを肌で感じた。彼は決して、軍部の言うような赤ではなかった。桐生が富岡製糸工場を誇りとするならば、丹後は加悦町から出た細井和喜蔵の『女工哀史』を称えたい。

1930年代は軍部独走の暗黒時代である。シビリアン・コントロールが効かなかった。ひたすら戦争への道に走った。そういった悲惨な現状を鑑みて、丹後にどうしても総合病院が要る、という声が大きくなった。そのような声を背景に、府の認可を受けて当院は設立されることとなった。医師は京大1・2内科、1・2外科から常に派遣された。しかし大政翼賛会からは建築資金はとても望めない。そこで、地元の織物工業組合が中心となって出資し合った。加悦方面からも大きな資金提供があった。土地は当時の中郡峰山町から受けている。

大正デモクラシー、民主化の傾向、しかし、軍部の独走、関東大震災、貧困、過酷な労働条件、戦争直前の状態、これらと富岡製糸工場や丹後のちりめん列車に思いを馳せ、富岡製糸工場の世界遺産登録に感慨無量のものがある。

昭和天皇は、終戦のマッカーサー元帥との会談で、「戦争に入ることを私は止めることはできなかった。しかし、私は戦争を止めさせることはできた。」明治天皇の御詠を詠われ、

よもの海 みな はらからと思う世に など 波風のたちさわぐらん

昭和天皇とマッカーサーとの握手が報道された。これには国民が驚いた。

富岡製糸工場の今回の世界遺産登録を心から喜び、細井和喜蔵の描いた、多くの若い婦女子の方々の犠牲の上に今日があるのだと思い知らされている。

合 掌

現在も使用されている織機



ちりめん列車(加悦鉄道)の路線



丹後ちりめん

ちりめん列車(加悦鉄道)は大正14年から昭和60年まで運行された。

旧A棟解体工事のおしらせ

旧A棟の解体工事が始まっています

昨年9月、新A棟の完成に伴って、管理棟、病棟および一部の外来診察室を、旧A棟から新A棟へ移転致しました。これにより、現在、移転前の旧A棟を取り壊す工事を行っています。工事期間は5月初旬より8月中旬頃までを予定しています。

工事期間中は、旧A棟横ならびに建物裏側の患者様用駐車場がご利用いただけません。また、旧正面玄関側から建物裏側への通り抜けができなくなっています。

なお、工事完了後は、旧A棟跡地も患者様用駐車場として整備し、少しでも混雑が緩和されるよう努めてまいります。

患者様をはじめ来院される皆様には、長期にわたって大変ご迷惑をお掛け致しますが、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

旧A棟裏側駐車場



工事期間中はご利用いただけません

旧正面玄関周辺



工事期間中は、建物裏側への通り抜けおよび建物横での駐車ができなくなっています



(通り抜け・駐車できません)

病棟・病床のご案内

5月より増床致しました

5月より、回復期リハビリ病床を従前より46床増床し、現在、一般病床190床、回復期リハビリ病床96床、合計286床が稼働しています。在宅に向けてより一層充実した訓練を行っていただけるよう、スタッフ一同頑張っております。



3F **6病棟** 601～628号室
回復期リハビリ病床 **46床**

2F **5病棟** 501～523号室
一般病床 **47床**



3F **8病棟** 801～832号室
回復期リハビリ病床 **50床**

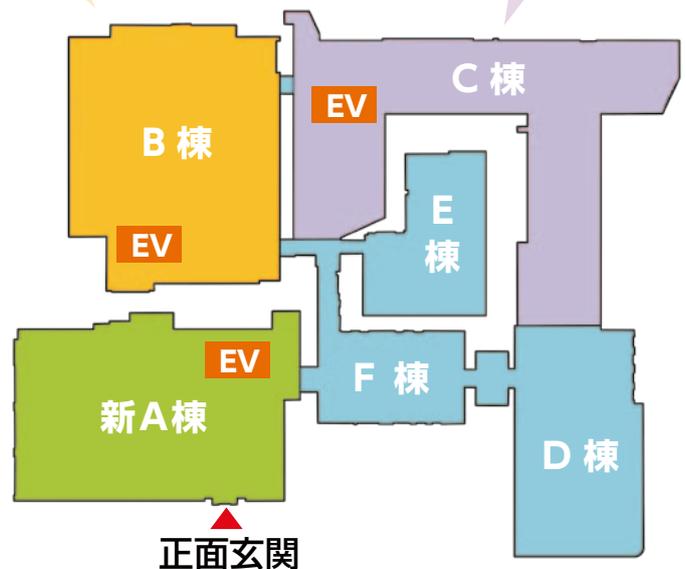
2F **7病棟** 700～732号室
一般病床 **38床**



4F **3病棟** 301～320号室
一般病床 **30床**

3F **2病棟** 201～218号室
一般病床 **37床**

2F **1病棟** 101～120号室
一般病床 **38床**



お見舞い等にお越しの際は、各棟1階よりエレベーター **EV** をご利用ください。

内科全般を幅広く診察しています

4月に舞鶴から赴任してまいりました。実は、6年前にも丹後中央病院に勤務しておりましたので、峰山の地に戻ってきたことになります。この6年間で目を疑うほどの立派な病院となっていました。都会の一流病院に負けないほどの最新設備がそろっています。また、病院の周囲は緑が多く、豊富な自然に心が癒されます。

診療科は一般内科を担当しております。一般内科とは、内科疾患全般を幅広く診る科です。どの科を受診したらいいかわからないときは一般内科の受診をお勧めします。診察後に必要な専門科へ紹介することができます。また、生活習慣病や慢性疾患の定期的な診察も行っています。風邪や胃腸炎の初期診察を行うのも一般内科の役割です。

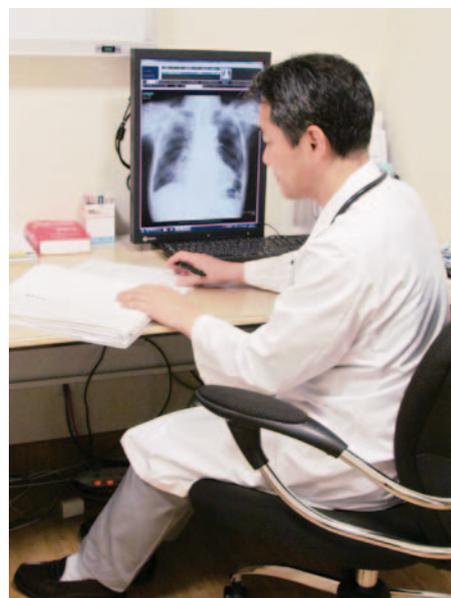
京丹後市に来て感動した事は、皆様の家族愛です。高齢のご両親を大切にされている姿は、心から尊敬できます。一般内科医として、皆様の健康維持のため誠意を持って診察を行っていきたいと考えております。出来るだけ長くこの地で過ごしたいと願っておりますので、宜しくお願いいたします。



◆ 外来診察のご案内 ◆

【午前診療】
月・火・木・金

【夜間診療】
月・金



皆さまに御挨拶申し上げます

今年の3月24日から赴任しました整形外科の安藤義博です。昭和57年に島根医大を卒業し、昭和58年の夏（おそらく…）に初めて峰山に来ました。夏のロサンゼルスオリンピックの年でした。まだ笹野先生が外科部長で黒田事務長が活躍されていた時代です。

当時私は大学院生で、大学で研究しながら同僚の医師と3カ月交代で丹中に勤務しました。その後医長として3年半勤務し、その間に二人の娘がこの病院で生まれました。長女は私が整形外科の手術中に生まれました。ふたりとも峰山ですくすく成長しました。



その後、大学の関連病院に勤務した後、兵庫県内の病院で20年間充実した日々を送りました。個人経営の医療法人でしたが、たくさんの国際学会に出席したり、たまに発表したり、色々な大学の先生との交流もあり、多彩な疾患を治療することができました。

ただ、島根医大の伝統として頸椎疾患の治療経験が多くなく、何とか身近で頸椎の手術を勉強できる機会がないかと、かねてより悩んでいました。たまたま腕神経叢麻痺の手術の権威である西島先生が丹後にいらっしゃることを知り、何とか先生に頸椎の手術を教えてもらえないかと相談したのが去年の秋のことではありますが、快く受け入れて頂きました。私としては国内留学のつもりで頑張る覚悟で峰山に参りました。

24年ぶりに帰ってきてみると古い病院がまだ残っていて、その隣に立派な新病院がそびえ立ち、新旧二つの病院が並び建っているのが、まるで自分の人生をみるようで印象的でした。

はたしてここでどれだけのことが出来るのか、大変不安ですが、少しでも丹後中央病院のお役に立てるように、微力ながら頑張りたいと思っております。



◆ 外来診察のご案内 ◆

【午前診療】
月・火・水・木

【夜間診療】
月・水

平成22年3月に旧E棟1階から現在のB棟4階に厨房を引越し、その際にオール電化の厨房になりました。

平成26年5月現在、栄養科は22名のスタッフ（管理栄養士6名、栄養士1名、調理師8名、調理補助6名、事務1名）で構成されています。

【栄養科の業務】

配膳車の通行にご協力をお願いします

事務所では、入院患者の食数管理、献立作成、材料発注、栄養指導等の仕事をしています。

厨房では、365日朝昼夕休まず、入院患者様の食事を作っています。一般食、特別治療食合わせて、1食当たり190～200食の食事を、4～5人のスタッフで調理・盛り付け・配膳まで行っています。また、それ以外に外来透析の患者様の食事や、当直職員の食事、院内保育所の子供達の食事も作っています。

栄養科は、患者様が入っていただけない場所にありますので、仕事の様子を見かけることも少ない部署かと思えます。朝昼夕の食事配膳時には、大きな配膳車が廊下を通り、外来患者様の通行の妨げになってご迷惑をお掛けしております。配膳車は重量も重く、急停止できません。また、曲がり角では巻き込み事故を起こす可能性もありますので、配膳車には近づかれませんようご協力をお願い致します。

安心・安全・清潔 = 食中毒を出さない!!

オール電化の厨房に変わり、4年が経ちました。新厨房に移った当初は機器を使いこなすことに苦労し、ガス厨房の良さを再認識したこともありましたが、今ではIH調理機器の利点も生かし、効率よく大量調理を行っています。

今後も、「安心・安全・清潔=食中毒を出さない!!」を第一に、スタッフ一同頑張っております。

栄養科 科長 田中 奈美恵



目で見て楽しんでいただけるよう、色どりなども考えて献立を作っています



患者様への栄養指導も、栄養科の重要な業務の一つです



厨房内での盛り付けの様子です



平成26年5月1日より、医療安全管理室が新しく立ち上がりました。現在、看護師1名、事務1名で業務を行っております。

「医療安全管理室ってどんなところ？」

「医療安全管理室ってどこにあるの？」

それでは、医療安全管理室がどのようなところか少し紹介させていただきます。

まず、医療安全管理室の重要な業務の1つとして、患者様の相談窓口業務があります。

「どんなことを相談できるの？」

医療安全管理室では、以下のような相談に応じています。

- ・ 病気や治療に対する不安・心配ごと・医師の説明に対して理解できない事柄
- ・ 職員の対応への不満など

外来で直接相談しにくいこと、どこに相談したらいいのかわからないこと、職員の接遇について等、幅広く相談をお受けしています。相談をご希望の方は総合受付、または医療安全管理室まで直接お越しいただいても結構です。その他に「気づきの箱」を受付・各外来・病棟等に設置しておりますので、そちらに投書していただいても構いません。ご都合のよい方法でお気軽にご相談ください。

また、医療安全管理室では、各種マニュアルの作成・整備をはじめ、医療事故の予防、残念ながら医療事故が起こってしまった場合の初期対応、再発の防止に努めています。その他にも、患者様にとって安心して医療を受けられるような病院づくり、そのために職員が安心して働ける職場をつくることも、医療安全管理室の重要な業務です。

「過ちは人の常、許したもうは神の業」

これは有名な言葉ですが、どんな人間でも間違いからは逃れられません。しかし、過ちを恐れすぎでは患者様へ良い医療の提供はできません。

最後に、医療安全管理室の業務時間についてご案内させていただきます。

【ご相談時間】 毎週月～金曜日 8:30～17:00

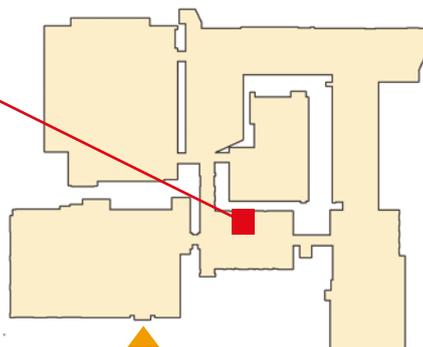
毎月第2・4土曜日 8:30～12:00

※ 但し、次に掲げる日は受付業務を行いません

- 日曜日・祝祭日
- 当院が定める休診日

相談は随時行っておりますが、予約等によりお待ちいただく場合がございます

医療安全管理室は
こちらです



正面玄関



室長 松本 和賀代



「気づきの箱」から

丹後中央病院では、患者様からお気づきの点をうかがい、より良い病院運営に反映させるべく、「気づきの箱」を受付・各病棟等に設置しています。頂戴しました内容につきましては、随時お答えして院内に掲示しています。

どんなことでも結構です。ぜひお気軽にご意見をお聞かせください。



患者様の声

ベッドの汚れが気になります。髪の毛などもう少しきれいに掃除して頂きたいと思います。

患者様には不快な思いをおかけ致しまして、誠に申し訳ございません。早速、当該部署に注意喚起いたしました。

今後も気になる事がございましたら、遠慮なく職員まで声をおかけください。ご意見ありがとうございました。



患者様の声

◆ 薬の待ち時間が長くて困る。もっと早くして下さい。

◆ 他の病院のように一般の薬局で頂けたらと思うのですが・・・。

皆さん大多数の方がそう思っておられます。診察に何時間、薬でも待ち大変です。

長い間お待たせいたしまして、申し訳ございません。待ち時間に関しましては、他にもたくさんのご意見を頂いております。少しでも患者様の待ち時間を短縮できる様、職員一同努めてまいります。

また、長くお待ち頂いている場合は、遠慮なく職員まで声をおかけください。ご意見ありがとうございました。



患者様の声

整形の第3診察室の前が大変寒い（冬季）ので、何か良い方法はないですか？

ご意見ありがとうございます。ご指摘の場所は近くに自動ドアがある為、人の出入りの際に外からの風が入り込み、お待ち頂いている方にはご迷惑をおかけしております。自動ドア付近にヒーターを置いて、なるべく温度が下がらないよう工夫しております。

また、患者様用のひざ掛けも用意しておりますので、ご利用いただきますようお願い致します。



無料送迎バスをご利用ください

丹後中央病院では、通院される際の交通手段の確保が困難な患者様にご利用いただくべく、無料送迎バスを運行しています。

- 京丹後市内
- 与謝野町・宮津市方面
- 伊根町～府中（宮津市）方面
- 但東町方面

現在、曜日ごとに上記の各コースを運行しています。今号に運行表を添付しておりますので、ぜひご利用ください。



糖尿病セミナーのご案内

毎月最終火曜日に「糖尿病セミナー」を開催しています。糖尿病の患者様でない方や、患者様のご家族様にもご参加いただけます。関心をお持ちの方はぜひご参加ください。

【参加費】無料

【時間】14時～15時

【会場】丹後中央病院内『ふたばホール』

【お申し込み方法】

各外来までお知らせください

【今後の開催予定】

< 6月24日 >

糖尿病合併症「糖尿病と認知症」

～糖尿病患者さんの方が早くボケる!?

ボケ対策にも糖尿病治療!! ～

< 7月29日 >

テーマ未定

以降も定期的に開催の予定です。



講師

糖尿病内分泌科

革嶋 幸子 医師



糖尿病セミナーの様子です。毎回、様々なテーマに沿って詳しく説明させていただいています。資料・パンフレット等も多数ご準備しておりますので、ぜひご参加ください。

編集後記

京都にある聖護院という有名なお寺は皆さんも御存じのことと思います。このお寺には狩野派の絵師による障壁画が160面以上描かれていて、素晴らしいふすまや屏風を拝見することができます。聖護院といえばやはりこれら障壁画が有名なのですが、それらを凌駕して強く印象に残った額がありました。それは上段の間の欄干に掲げられた「研覃（けんたん）」という後水尾天皇の筆によるものでした。この「覃」という字は農業用具である鋤を意味し、「研」は文字通り「研ぐ」という意味。「自分自身を磨いて、自分の心の畑を耕しなさい」という意味だそうです。また、この額は四方が丸く形作られており、これは「人の心には角があってはいけない。」という教えが込められているということでした。研ぐにしても、人を傷つける武器ではなく、明日を育む畑を耕す農具にちなさい、ということでしょうか。人としてのあり方の根本を教えられているような気が致しました。今でも深く心に残っています。

私自身、何か上手くないとき等、イライラしたり人を責めてしまったりしがちなのですが、そのたびにこの言葉を思い出すようにしています。

まだまだ開墾途中の畑ではありますが、人生の最後には豊かな実りを得られることを目指し日々精進して参りたいと思います。

秘書広報課 宮崎 奈緒美

平成27年度職員採用のおしらせ

人間性豊かな医療人の育成に努め、職員の教育に関して、病院全体で取り組んでいます。
働き甲斐のある職場を作り、地域に貢献できるよう職員一丸となって頑張っています。

看護部

- 採用職種及び人員 正看護師 20名
- 応募書類 履歴書・成績証明書・卒業見込み証明書
- 選考日時・応募締切
 - 第1回目 平成26年 8月23日(土) 締切 8月15日(金)
 - 第2回目 平成26年10月25日(土) 締切10月17日(金)
 - 第3回目 平成26年12月27日(土) 締切12月19日(金)
- ※ 当日消印有効
- 選考方法 面接・小論文
- 採用年月日 平成27年4月1日予定
(すでに免許のある方は採用日応相談)



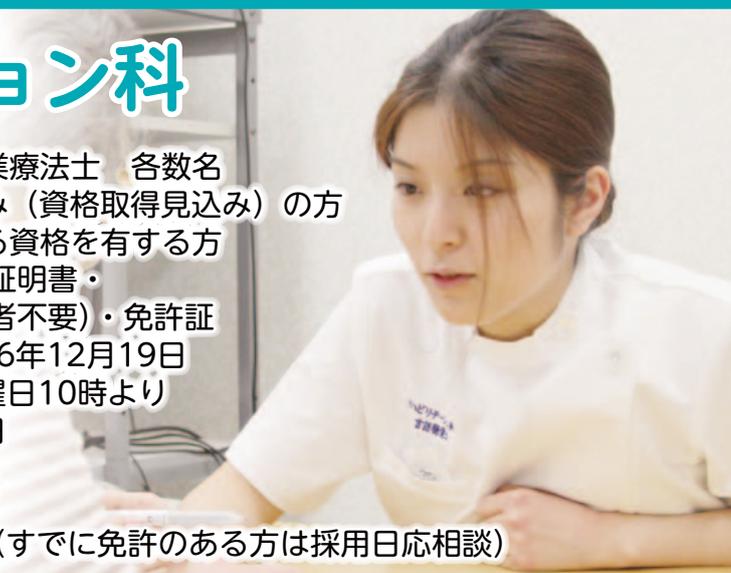
薬剤師

- 採用職種及び人員 薬剤師 1～2名
- 応募書類 履歴書・成績証明書・卒業見込み証明書
- 選考日時・応募締切
 - 第1回目 平成26年 8月23日(土) 締切 8月15日(金)
 - 第2回目 平成26年10月25日(土) 締切10月17日(金)
- ※ 当日消印有効
- 選考方法 面接・小論文



リハビリテーション科

- 採用職種及び人員 理学療法士・作業療法士 各数名
- 応募資格 ・平成27年3月卒業見込み(資格取得見込み)の方
・既に募集職種に該当する資格を有する方
- 応募書類 当院所定の履歴書・成績証明書・
卒業見込み証明書(既卒者不要)・免許証
- 募集期間 平成26年5月1日～平成26年12月19日
- 選考日時 募集期間中の各月第4土曜日10時より
- 応募締切 採用試験日1週前の金曜日
※ 当日消印有効
- 選考方法 面接・筆記試験
- 採用年月日 平成27年4月1日予定(すでに免許のある方は採用日応相談)



○当院には急性期病棟、回復期病棟があります。また、地域リハビリテーション支援センターに指定されており、地域の事業所や施設の支援も行っています。教育・指導体制にも力を入れています。